

山家 慎閑

山家郷塾理念

一、自然の恵みと祖先の恩に感謝し、日々お蔭さまの心を以て郷生の道を歩むこと
一、地域の歴史・文化・伝統を学び考へ今を照らし、故郷の振興と再生を図ること
一、永遠と続く歴史の中にある今を受け継いだモノを守り伝えること

山は清き

前号にこりることなく、お読みいただきありがとうございます。人生忍耐が必要でございます。早まらず気長にお付き合ひ頂けたらと願います。
七月富士山頂上、八月御嶽山頂上、計34日間修行して参りました。(…「季節労働者は奥さん大変だね」等の発言はお控え下さい)
山にいと身近なものがありがたさが身に染みてわかります。自然の偉大さ祖先の尊さ、食事ができる事・水太陽の恵みの貴重さ、何よりも家族の有り難さ、なぜ普段は気付けられないのでしょうか？自然から離れすぎてしまった事が一因ではないかと感じました。ですが今の社会では無理もありません。それでも人々は「鎮守の杜」地域の自然に対する感謝と畏れの心を表した神社(仏閣)には残し伝えてきました。それは時代と共に、自然に触れられる、自分を見つめられる唯一の場所だから

お寺の仲良し お宮の小話し

道具編

「弘子と大麻」

お寺さんの弘子(ほつす)にあたるもの。神社の祭典の前に必ず行ってお祓い時の、「さやさや」と音がするものはなんでしょう？

「大麻」…いえ危ないものではないんです。こう書いて「おおぬさ」と読むお祓いの道具。日本の国土やたくさんのお宮さまをお生みになられたイザナギ・イザナミ夫婦二柱の神さまのお話です。

亡くなられた女の神さまに一目会いたく、イザナギの神は黄泉の国を訪れますが、そこで見てはいけないものを見てしまい、恐ろしい神さまに追いかけれ命から逃げ出すことができました。

前号でお話した通り、日本人の水観念には「清める」という意味が含まれているため、イザナギの神は黄泉の国でついでにしまった不浄を清めるため川に入り禊(みそぎ)を行います。そこで現在ご家庭の神棚でおまつりしている「天照大御神」を始め、「月読神」「須佐之男神」の三貴神が誕生されました。

この神さまによる祓い清めにならない、お祓いの言葉にはそのエピソードが語られ、「さやさや」という音は川の音を表しているとも言われます。
このようにお祓いにより神さまが生れたりする様に、神社の「おはらい」は悪いものをどこかへ飛ば

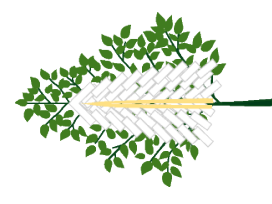
すというものではありません。神さま(自然)からいただいた尊い身体・心・魂をもとの清らかな状態に戻し内側から良くしていくことをいいます。ちょうど北風と太陽の話の様に、旅人が自らコートを脱ぐような(不浄がなくなっていく)太陽のような存在が神社の祓いというものです。朝夕の山家神社のお祭りでの祓いを行ってまいりますのでよろしければご参列下さい。(もちろん無料です)

ぼんぼり祭り

九月二十日(土)夕方より真田区秋祭りにあわせ、「ぼんぼり祭り」を行います。参道に皆様を描いた絵をぼんぼりとして明るく照らします。絵を描いていただける方は社務所へお越し下さい。(賞有り)
※「お知らせ」神様ポスト設置しました！
葉書は社頭にあります。ご利用下さい。



大麻 (幣軸)



大麻

風屋ふ店

386-2201
上田市真田町長 4364-1
Tel 0268 (72) 9898



さなだの美味しいとうふ屋さん